

取扱説明書

日立LED照明器具

HITACHI
Inspire the Next

保存用

一体形LEDベース器具スクエアタイプ (直付・埋込兼用形)

日本国内用

型式: NE454AD-JZU14A・NE454AD-JZ14A・NE454AD-JZL14A
NE454AN-JZU14A・NE454AN-JZ14A・NE454AN-JZL14A
NE454AW-JZU14A・NE454AW-JZ14A・NE454AW-JZL14A
NE454AWW-JZU14A・NE454AWW-JZ14A・NE454AWW-JZL14A
NE454AL-JZU14A・NE454AL-JZ14A・NE454AL-JZL14A

●初期照度補正・
連続調光(100~約5%)兼用形

- このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。
ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」
内容のものです。



してはいけない「禁止」
内容のものです。



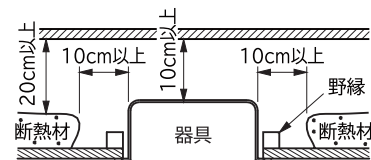
実行していただく「指示」
内容のものです。

工事店様へ この取扱説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

警告

- 取付工事は「取り付けかた」に従い、確実に行う。※不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 本器具は直付・埋込(M形)兼用器具です。断熱材・防音材をかぶせて使用しない。
使用する場合は右図のように器具との隙間を10cm以上離すこと。
※火災の原因となります。
- 壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしない。
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)以外の電圧で使用しない。
※火災・感電の原因となります。
- 器具が破損した状態で使用しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具を分解、改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。



注意

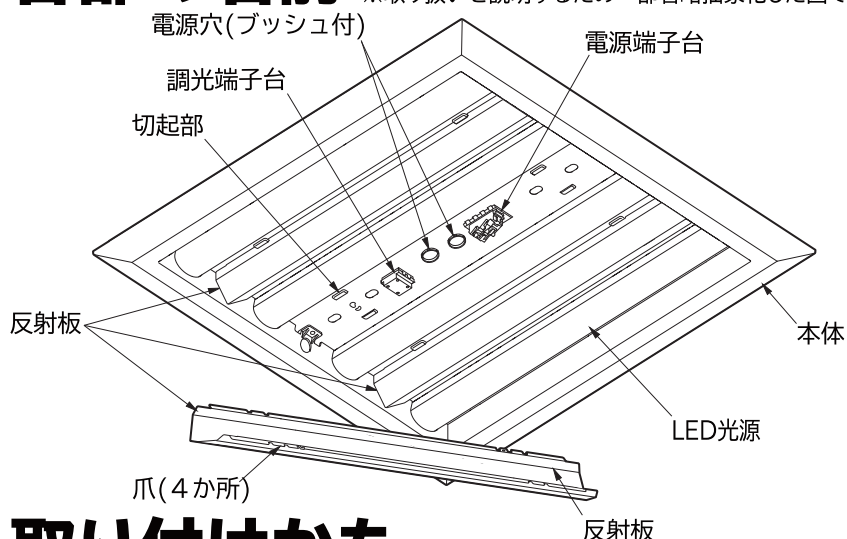
- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しない。
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具に物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。
※器具の破損によるけがの原因となります。
- 周囲温度は5~35℃以外では使用しない。※火災・感電・不点灯・絶縁不良の原因となります。
- 電源入力部に電源スイッチ等を設置する場合は、必ず活線側に電源スイッチ等を設置(両相とも活線の場合は両相に設置)する。※早期故障・電源オフ時にLEDが微発光する原因となります。

その他のご注意

- 500Vを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしない。※故障の原因となります。
- 当社専用信号線方式の制御装置以外と組み合わせて使用しない。※動作不良・不点灯の原因となります。
- 漏電ブレーカーに本器具を多数接続する場合は、漏電ブレーカーの定格電流を超えない接続台数とする。
なお、不要動作を防止するため、感度電流30mAの高周波対応形漏電ブレーカーで最大30台としてください。

各部の名前

※取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です



取り付けかた

1 取付前に確認する。

- 天井埋込で使用する場合は、埋込穴690mm角をあける。
- 取付ボルトを器具質量(表1)に十分耐える補強のある天井面に設ける。取付位置は(図1)を参照してください。
※強度が不足していると、落下によるけがの原因となります。
- 取付ボルトの出代は本体内25mm以下にする。
※取付ボルトが出すぎると、反射板が取り付けられなくなります。
- 反射板を外してください。

2 器具本体を取付ボルトで天井面に確実に取り付ける。

- 電源線・アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
また、調光信号線はもう一方の電源穴から引き込んでおく。
- 取付ボルトを締めすぎると、器具が変形するおそれがあるため天井面との隙間に注意しながら締め付けトルクを調整する。

3 電源線・アース線を電源端子台に接続する。(図2)

- 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む。※接続に不備があると、火災・感電の原因となります。
- 反射板で挟まないよう電線を処理する。
- アース工事はD種接地工事を行う。
※アース工事が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
- 電源線・アース線を解除する場合は、ドライバーで解除部を押してははずす。

4 調光信号線を調光端子台に接続する。(図3)

- 【連続調光機能を使用する場合】
- 調光信号線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む。※接続に不備があると、動作不良の原因となります。
- 制御装置への接続は、制御装置の取扱説明書に従い作業する。
- 調光信号線を解除する場合は、マイナスドライバーを解除用溝に挿入してははずす。
- 反射板で挟まないよう電線を処理する。

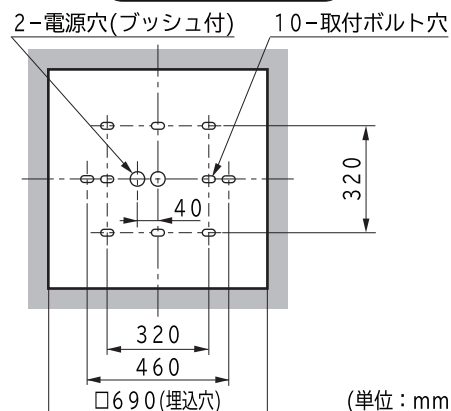
5 反射板を本体に確実に取り付ける。(図4)

- ①片面の爪(2か所)を切起部に確実に差し込む。
- ②反射板をすばめる。
- ③もう一方の爪(2か所)を切起部に確実に差し込む。
- 4か所とも爪がはまっていることを確認してください。
※上記の確認作業を必ず行ってください。
反射板の落下によるけがの原因となります。

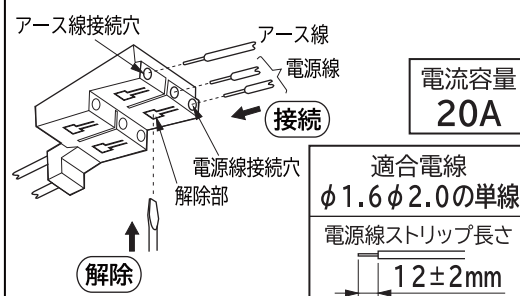
器具質量(表1)

型式	器具質量
NE454A-JZU14A	6.0 kg
NE454A-JZ14A	5.6 kg
NE454A-JZL14A	

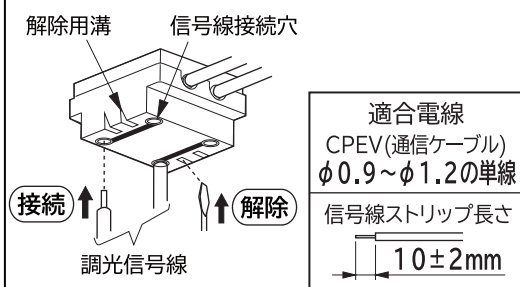
背面取付穴(図1)



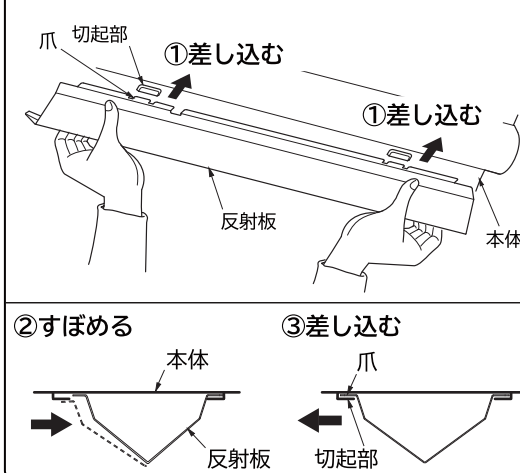
電源端子台の接続と解除(図2)



調光端子台の接続と解除(図3)



反射板の取り付けかた(図4)



- 6 取り付け完了後、絶縁抵抗を確認する。
●絶縁抵抗試験は500V以下の絶縁抵抗計を用いる。
※500Vを超える絶縁抵抗計を用いると、故障の原因となります。
- 7 工事完了後にLED光源が正常に点灯するか確認する。

お客様へ この取扱説明書は必ず保存してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 警告

- 器具を分解、改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具の隙間に金属類を差し込まない。※火災・感電の原因となります。
- 器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない。※火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、器具の使用をやめる。※火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

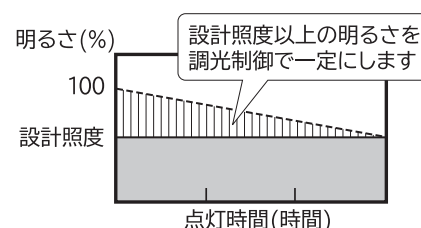
- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ・ガスレンジ等)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。
※火災の原因となります。
- 器具に物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。
※器具の破損によるけがの原因となります。
- LED光源を直視しない。※目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

ご使用上の注意

- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をする。
3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をしてください。(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。)
- 電波の弱い場所(山間・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても作動しないことがあります。
- 器具の近くで同時通訳機等の誘導無線やワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に作動しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色・明るさにバラツキがあります。同一型式の器具でもLED素子のバラツキによる発光色や明るさにムラが生じることがあります。
- 点灯・消灯時に器具からさしきみ音が聞こえる事がありますが、異常ではありません。
- 器具周囲に硫黄成分が存在する場所(温泉地など)での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。
- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によって光ムラが気になる場合があります。
- 制御装置と組み合わせて使用しない場合には、初期照度補正形となります。
連続調光形として使用する場合は、専用の制御装置(日立製)と組み合わせてご使用ください。

初期照度補正機能について

- 室内の設計照度は寿命時の明るさで設定されているため、新しい照明器具は設定以上の明るさが出ています。
初期照度補正機能とは設計照度を考慮して、明るさを調光制御で一定にして省エネをはかる機能です。
明るさを重視するときは照度補正機能を解除して、その時の100%の明るさにすることもできます。

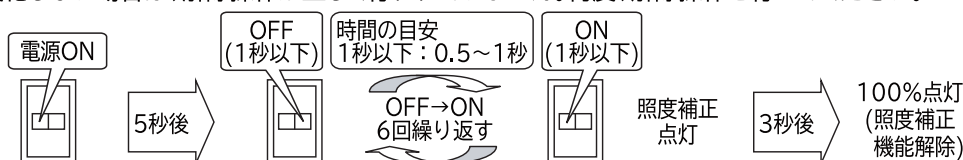


初期照度補正機能を解除したい場合

●電源ONにして、下図の操作を行ってください。

※壁スイッチで操作する場合は、同一スイッチ回路に接続されたすべての器具が解除されます。

※操作後、明るさが変化しない場合は、解除操作が正しく行われていません。再度、解除操作を行ってください。



●照度補正機能に戻す場合も上記の操作を行ってください。(累積点灯時間はリセットされてます。)

ご使用上の注意

●照度補正機能解除操作を行ったときに、万一、同一スイッチ回路に接続された器具の照度補正と定格出力の状態が混在した場合は次の操作をしてください。すべての器具が累積点灯時間タイマーがリセットされ、照度補正機能動作状態になります。
〔電源ON状態から、電源OFF(1秒以下)→電源ON(1秒以下)を16回繰り返す〕

●器具の汚れに対する補正はできません。定期的に清掃をしてください。

●ホタルスイッチの仕様によっては、リセットができません。

製品仕様

●この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

基本特性(周囲温度25℃)

定格入力電圧(V)	100	200	242
入力電流(A)	0.909	0.454	0.379
定格消費電力(W)	88.4	87.4	
平均消費電力(W)※2	80.0	79.1	

基本特性(周囲温度25℃)

定格入力電圧(V)	100	200	242
入力電流(A)	0.681	0.339	0.283
定格消費電力(W)	66.0	65.0	
平均消費電力(W)※2	59.7	58.8	

基本特性(周囲温度25℃)

定格入力電圧(V)	100	200	242
入力電流(A)	0.461	0.228	0.190
定格消費電力(W)	44.7	43.7	
平均消費電力(W)※2	40.5	39.5	

型式	全光束(lm)	光源色	相関色温度(K)	平均演色評価数(Ra)
NE454AD-JZU14A	12,230	昼光色	6,500 ※1	85 ※1
NE454AN-JZU14A	12,620	昼白色	5,000 ※1	
NE454AW-JZU14A	11,750	白 色	4,000 ※1	
NE454AWW-JZU14A	11,470	温白色	3,500 ※1	
NE454AL-JZU14A	10,890	電球色	3,000 ※1	

型式	全光束(lm)	光源色	相関色温度(K)	平均演色評価数(Ra)
NE454AD-JZ14A	9,160	昼光色	6,500 ※1	85 ※1
NE454AN-JZ14A	9,450	昼白色	5,000 ※1	
NE454AW-JZ14A	8,800	白 色	4,000 ※1	
NE454AWW-JZ14A	8,590	温白色	3,500 ※1	
NE454AL-JZ14A	8,160	電球色	3,000 ※1	

型式	全光束(lm)	光源色	相関色温度(K)	平均演色評価数(Ra)
NE454AD-JZL14A	6,110	昼光色	6,500 ※1	85 ※1
NE454AN-JZL14A	6,310	昼白色	5,000 ※1	
NE454AW-JZL14A	5,870	白 色	4,000 ※1	
NE454AWW-JZL14A	5,740	温白色	3,500 ※1	
NE454AL-JZL14A	5,450	電球色	3,000 ※1	

※1 保証値ではありません。

※2 初期照度補正による電力変化の平均値です。

お手入れ (必ず電源を切ってから行ってください)



必ず守る

●反射板・LED光源がほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたらきれいな布を水またはうすめた中性洗剤に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。



禁止

●みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。
割れ・傷・変色・サビの原因となります。

●点灯中や消灯直後は、器具が高温になっているので触れないでください。やけどの原因となります。

保証とアフターサービス

●照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、点灯装置は3年間です。

●保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または照明サービスセンターに、器具の型式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

照明サービスセンター：電話(0120) - 335 - 762 受付時間：土日祝日を除く9:00 - 17:00

◎日立グローバルライフソリューションズ株式会社